

季刊ジャネット Ja-Net

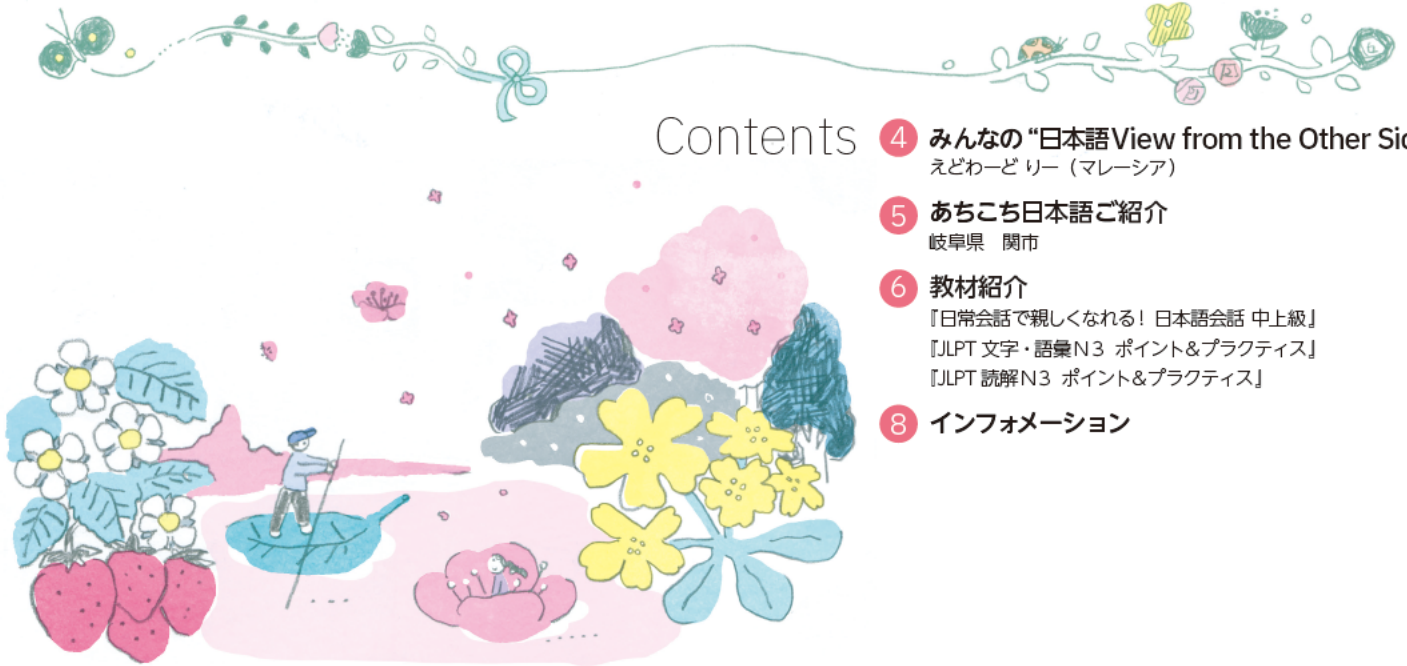
スリーエーネットワーク

April 2021

No. 97

Contents

- 4 みんなの“日本語 View from the Other Side”
えどわーどリー (マレーシア)
- 5 あちこち日本語ご紹介
岐阜県 関市
- 6 教材紹介
『日常会話で親しくなれる! 日本語会話 中上級』
『JLPT 文字・語彙N3 ポイント&プラクティス』
『JLPT 読解N3 ポイント&プラクティス』
- 8 インフォメーション



巻頭寄稿

外国人日本語教師の 育成・養成を通して考えたこと

元国際交流基金日本語国際センター
専任講師

雄谷 進



ベトナム中部・ダナン外国語大学にて。長年の集大成となった、記念すべき現職教師向けセミナー

日本語教育へのお誘い

学び続け成長し続ける、そんな日本語教師を育てられればと思い、昨年11月末まで日本語教育に携わりました。国際交流基金に縁があり、海外7カ国で、最後にベトナムで外国人の日本語教師育成を担当しました。

これからは新しいチャレンジとして、海外で日本語教師になりたい方、また

は海外と関わりたい方を日本語教育の世界にお誘いしたいと思います。この仕事はみなさんの日本語が大きな戦力になります。こんな魅力的な職業があるでしょうか？ いろいろな国の人と知りあえます。何より海外には多くの日本語学習者がいて、これから学びたいと考えている潜在学習者も多いのです。つまり大きなマーケットなのです。日本語を学ぶ人が一人でも多くなるには、優秀な日本語教師が必要です。

念願かなってベトナムへ

かなり前になりますが、当時通っていた大学院の指導教官が一人の留学生と一緒に教室に現れました。ベトナムからの国費留学生、ハオ氏でした。

彼はすでにハノイ貿易大学の講師でしたが、貿易辞典作成のために日本に留学していました。ある日ハオ氏に「何か良い仕事はないでしょうか?」と話しかけたところ、彼は「ぜひ日本語の先生になり、ベトナムへ来てください。待っていますから。」と。「そんな仕事があるのですか。どうすればいいですか?」「国際交流基金(以下、基金)です」。

それから基金について調べ、数々の日本語教師養成講座(国立国語研究所、基金など)に通いました。そして基金の試験(現在の「海外派遣日本語専門家公募試験」)を受け、スリランカ、スペイン、トルコへ赴任したのですが、彼との約束を果たせないまま、月日だけが過ぎていきました。念願が叶ったのは2006年です。ベトナム日本人材協力センター(VJCC、ハノイ貿易大学キャンパス内に設置)へ赴任できたのです。運命のいたずらか、2007年に彼がVJCC所長に就任しました。「やっと約束が果たせる」と思ったのを今でもよく覚えています。

日本語教師育成の大切さ

大学院時代の一人のベトナム人との出会いから35年、現役生活最後に2度目の赴任地となったベトナムで、今後の日本語教育を見据える教師育成という、とても大切な業務につくことができました。基金では毎年海外の日本語教師を招聘し、教師研修をして



大学院時代に出会ったベトナムからの国費留学生ハオ氏と運命の再会を祝しての食事会。
左から3番目が筆者。右から5番目がハオ氏

いますが、数は限られています。その意味で現地での教師育成は大きな意味を持ちます。2018年度新規プロジェクトである「日本語教師育成強化特別事業」で「新規教師育成(以下、新規)」と「現職教師向け」を担当することになりました。

教師育成をするにあたり、ハノイ、ハイフォン、フエ、ダナン、ホーチミンなどの大学、日本語センターを訪問しました。現場の話を聞き、現状を踏まえた上で教師研修プログラムを練り、実施しました。ベトナムの教師は日本語レベルが高いと思いますが、教える際の基礎的知識、教授法についてはあまり学ぶ機会がありません。そのた

め自分が学んだ時のことを思い出しながら、指導していました。そこでより良い教師を育てるために200時間の「新規」がスタートしたのです。元々ある日本語力に加え、教授法の力がつけば、受講生の日本語力向上も期待できると考えました(詳細は文末のURL*を参照)。

この「新規」を4回実施しましたが、受講生、担当講師、事務の方々の意見を参考に毎回修正しました。受講生の8~9割は『みんなの日本語』で学習し、教えていますので『みんなの日本語』の分析、指導法を外すわけにはいきません。

また受講生から「5カ月間すべて土日が潰れるのは困る、終了時間も早くしてほしい」など要望がでたので月に一度は休みを設け、授業開始時間を早め、昼休みも短くするなどの調整をしました。大切な教授法授業では、日本

次は皆さんの出番です 踏み出そう! 日本語教育の世界へ



ベトナムでのいつものランチ、蟹肉がのったトマト麺「ブンジュウクア」



『みんなの日本語』の資料「もっと知りたい みんなの日本語」を持って「いいね!」



毎週行われる教授法の小テストの様子。時に追試験もあるため皆真剣そのもの

語教育に関する基礎的知識、役に立つサイトの情報、ICT活用などを組み入れました。良質なサイト例として、基金には「みんなの教材サイト」「みなど」「いろどり」「まるごと+(プラス)」、スリーエーネットワークには教材紹介、音声資料のサイトなどがあります。今でこそインターネットから多くの情報、資料を手に入れることができますが、その知識や情報をいかに授業に生かすかが大切です。「自分で調べる力」「役に立つサイトをチェックできる力」にも時間を割きました。でも実際授業を行ってみると、先生方は情報を持っていないし、調べ方がわからないのです。そこで必要と思われる情報とその内容について説明を繰り返しました。どれもとても好評でした。またベトナムで特に強調したのは「ベトナムにおける日本語教育の可能性の大きさ」、そして「自分自身の研修、学び」です。

海外ではいかに多くの役に立つ情報を提供してあげられるかが大切なポ

イントだと思えます。さらに教師育成講座の修了生へのフォローアップ、現職教師向けの教授法セミナー、教師間ネットワーク活用も大切になります。メール、電話、Facebook等ですが、私は対面を重視しました。

幸い海外7カ国に赴任することができ、日本語を通して知り合えた多くの先生、日本語力のある学生、そして良き友人に恵まれました。日本語教育に、とりわけ海外で「日本語教師育成」に関わられて本当に幸せでした。

忘れられないエピソードを一つ紹介します。スペイン赴任中、夕方散歩していた時、前方から歩いてきたスペイン人女性が突然立ち止まり「なんてハンサムなの!」と、一言。今でも強烈な思い出です。私は決してハンサムではありませんが、あのスペイン人女性には魅力的に見えたのでしょうか。今でも思い出すと、ついほくそ笑んでしまう、うれしいスペイン赴任中の一コマです。

もう一度、夢のようなひとときを味わいたいものです。

海外に活躍の場あり!

日本語教師は日本だけでなく海外にも数多く必要です。若者だけでなく、中高年の方々でも「海外で教えたい」気持ちを持つ人に門戸は開かれています。人生の窓口をより広く開け、ぜひ海外で日本語を教えてみませんか。

皆さん一人ひとりに海外に活躍の場があることを願っております。

*<https://www.jpff.go.jp/j/project/japanese/teach/tsushin/report/201908.html>
日本語教育通信 日本語教育レポート 第38回 『ベトナムで「日本語教師育成特別強化事業」が始まりました! -その成果と課題、展望もふくめて-』 雄谷 進

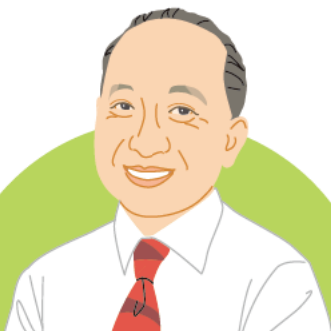
雄谷 進 (おおよ すすむ)



慶應義塾大学文学部教育学科卒業。早稲田大学院商学研究科修了。愛知淑徳大学大学院現代社会研究科博士後期課程単位取得修了。国際交流基金日本語国際センター専任講師、ベトナム日本人材協力センター (VJCC ハノイ)、国際交流基金マニラ日本文化センター、国際交流基金ベトナム日本文化交流センターにて日本語専門家を務め、長年海外の教育現場で日本語教育に従事。

みんなの“日本語View from the Other Side”

このコラムでは、学習者や日本語に携わる方の視点から話題をお届けします



マレーシア日本語協会 えどわーどリー

マレーシア、クアラルンプールで生まれる。
1984年 マレーシア日本語協会日本語の勉強を始める。

1989年～1994年 マレーシア公務員研修所で日本語研修プログラムや教材開発に従事。

1994年～2019年 国際交流基金クアラルンプール日本語センター勤務。

2019年 外務大臣表彰受賞。

1996年～現在まで25年にわたりマレーシア日本語協会マレーシアと日本の交流に尽力。

illustration 内山洋晃

日本語教育は世界をつなげるプラットフォーム

勉強すること」ではなく、「学んでいる言語で何かをしながら勉強することだと気が付きました。

日本語教育の新たな一面

その後、マレーシア公務員研修所で5年間、日本語研修プログラムを担当し、様々な研修や教材作成にたずさわりましたが、マレーシアの日本語教育の将来に不安を感じはじめたため、当時の国際交流基金マレーシア事務所の副所長に相談にいきました。すると、副所長から「来年日本語センターができます。一緒にマレーシア日本語教育の将来のために環境をつくりましょう」と言われ、国際交流基金クアラルンプール日本語センターに入所することになりました。

社会人向けの日本語教育しか経験がなかった私は、高等教育や予備教育、中等教育の日本語を支援するためには、どうすればいいのか考えました。マレーシア教育省と一緒に、学習者や現場の先生方の状況や悩みを聞くことにより「日本語を教えるだけでなく、教育省の方や先生方、みんなで取り組むことで学生を育成できる」という日本語教育の新たな一面を知りました。

「にほんご人フォーラム」

2013年に国際交流基金とかめのり財団共催の「にほんご人フォーラム」プログラムに関わりました。ASEAN5カ国の高校生、先生方と日本の高校生が参加し、21世紀型スキルをどう日本語授業に取り入れるのか、一緒に考えるプロジェクトです。

ここで学んだことが3つあります。1つ目は、カリフォルニア大学の先生が紹介した「プロジェクト型学習」。これはプロジェクトや目標達成のために取り組む学習方法のことです。2つ目は、「にほんご人」という定義。「にほんご人」とは「国際社会において日本語を使って何かを達成したい」という意思を持ち、そのために日本語でコミュニケーションをする人々のこと」。3つ目はプロジェクトに参加したタイ・インドネシア・フィリピン・ベトナムのスタッフが英語ではなく、日本語で交流していたことへの気づきです。日本語教育は「日本を知る・日本人と交流すること」とどまらず、「世界をつなげるプラットフォームになる」ということを学んだのです。

日本語フェスティバル

私が日本語の勉強を始めたJLSMでは、2006年からマレーシアの日本語学習者を主な対象者とした日本語フェスティバルを開催しています。現在、マレーシア国内外から2,500名の学習者や先生方が参加し、マレーシアで最も大きな日本語のイベントになっています。今年はオンラインで6月から9月まで、ASEAN地域の学習者にも参加してもらえるように計画しています。ぜひご参加ください。

<http://www.jlsm.org>

日本語を学ぶきっかけ

父が営む藤家具店によく来店してくれる日本人のお客さんに「日本語を勉強してみたら」と言われて、マレーシア日本語協会(以下JLSM)で日本語の勉強を始めました。まだ教科書の値段が高くてインターネットもない時代です。

週末は、日本人の家で英語の家庭教師をやっていた友人に付いていき、日本語で奥さんと話をしたり、子供とゲームをしたりしました。私は、ゲームに夢中になると日本語で独り言を呟っていたらしく、奥さんに「すっかり日本人らしくなったね」と言われました。

言語の習得は「言語だけに注目して

あちこち日本語ご紹介

岐阜県 関市

小さなお世話は大きな親切

関市外国人支援センター

代表 タパマどか

ものづくりが盛んで刃物が全国的に有名な関市は、人口約 87,000 人、外国人約 2,300 人の町で、技能実習生は約 1,000 人います。市内には日本語のボランティア教室がありますが、技能実習生入国後法定講習で日本語を勉強した後も、継続して日本語能力試験対策等の勉強をしたいという要望があり、ボランティア教室とは別に MMM 日本語教室を立ち上げました。「MMM」は、「みんなで みちびく 未来」という意味と、地域の人とともに町の外国人たちにも活躍してもらいたいという願いを込めてつけました。

教室では試験対策授業の他に、お花見、習字、長良川の小瀬鵜飼いの観覧など、技能実習生たちの憩いの場づくりをしています。ベトナム人実習生の強い要望で始まった旧正月を祝う会は、これまでに計 4 回実施し、去年は約 200 名参加の規模になりました。

また、料理が得意な実習生には、地域で行われる「ワールドキッチン」で講師になってもらい、普段外国人と関わりのない方たちとも交流する機会をつくっています。

支援事業スタート

日本語教室の実習生と関わる中で、助言や相談にのることはできても、それ以上の深い関わりやケアをすることが難しく、事業として関わることの必要性を感じ始めていました。ちょうど「関のソーシャルビジネスプレゼン大会」で「外国人技能実習生が住みやすいまち・関市へ!」というタイトルのプレゼンをする機会をいただき、想像以上に皆さんの関心が高かったこと、社会に必要とされる問題であったことが分かりました。企業と技能実習生双方の力になるような支援を企業側へ提案すると、早速やってみてほしいと言って

いただき、技能実習生生活支援事業をスタートさせました。

支援内容は、月に 2 回程度実習生の社宅を訪問し、なにげない会話をしながら体調のことや困ったことがないか相談にのったり、話し相手になることです。困り事を聞いても「ありません。」と言われることもあります。普段の生活や趣味の話から本当は困っていても話にくいことが見つかることもあります。いつでも相談できる、力になってくれるというつながりが大切です。相談内容は、買い物の場所、日本語の勉強、騒音の苦情対応などです。外国では人と人の距離感が日本よりも近く、特にアジア圏はおせっかいだなと感じることもありますが、私は外国人と接するときは、小さなお世話は大きな親切だと考えて、ちょっとおせっかいぐらいの距離感を目指しています。

“やさしいまち”を目指して

現在は、企業と実習生間の支援ですが、今後は監理団体とも連携しながら生活をサポートするモデルを考えていきたいと思っています。また、外国人のお母さんたちが社会から孤立しがちなので、サークルを立ち上げたいと思っています。

地域の外国人のネットワークを作ることは、コロナ禍で明らかになった情報弱者にならないために、また防災の観点からもとても重要です。技能実習生により深くかかわることで、周りの日本人の戸惑いや誤解が多いことがわかります。文化や習慣にお互いが寛容で“やさしいまち”を目指して活動を広げていきたいと思っています。



昨年 2 月、岐阜県玉入れ大会に技能実習生らと参加。結果はさておき笑顔あふれるイベントに



関市の小中学生が在住外国人のために手作りした布マスクを着けて記念撮影

『日常会話で親しくなれる！日本語会話 中上級』

瀬川由美・紙谷幸子・安藤美由紀 著

B5判 180頁 別冊 30頁(予定) 1,980円(税込) 7月発行予定

(一財)国際教育振興会 日米会話学院 日本語研修所

講師 瀬川由美

特長

「日本語でビジネスの話はできるけど、身近にいる人たちともっと気の利いた雑談がうまくできないものか……。」
「ですます調の話し方に、日本人の友達から「もっと普通に話そうよ、友達なんだから」と突っ込まれても、実は普通の話し方がわからない……。」この本はそんな悩みをひそかに持っている、中上級レベルの学習者に向けた日常会話のテキストです。シェアハウスに住むことになった4人のアラサー男女のリアルな日常生活を描いたドラマ仕立てになっています。

目次

第1話 シェアハウスで新生活

シーン1 初顔合わせ

シーン2 共同生活のルールを決める

第2話 仲間と寿司パーティー

シーン1 相手について興味を持って尋ねる

シーン2 二次会でもう少し相手を知る

第3話 休日に気分転換

シーン1 行きつけの店でヘアスタイルを変える

シーン2 谷根千ぶらぶら

第4話 同僚と客先回り

シーン1 訪問前の不安を解消する

シーン2 うわさ話をする

第5話 ジムでストレス解消

シーン1 筋トレで汗を流す

シーン2 サウナで健康談義

第6話 ワークライフバランス

シーン1 趣味が副業に？

シーン2 ボランティアをする

第7話 腕利きの名医にかかる

シーン1 名医を紹介してもらう

シーン2 診察を受ける

第8話 富士山にツーリング

シーン1 新しい仲間と出会う

シーン2 仲間とごはん

第9話 久しぶりのデート

シーン1 映画館で話題作を見る

シーン2 カフェで批評会

第10話 新しい道

シーン1 タクシーで金沢市内観光

シーン2 新居について話す

構成

テキストの各シーンの構成は、以下のようになっています。

1. タスク イラストを見ながら本文会話を聞いて、話の流れをつかみます。

2. 本文会話 登場人物の気持ちになって話しましょう。ストーリーを追いかけて口頭練習が楽しめるようになっています。

3. コミュニケーション上のポイント

本文会話の中の表現を取り上げ、「その言葉の裏にはどんな意図がある

か」という観点から話者の気持ちを解説しています。円滑な人間関係を作る上で役に立つテクニックです。

4. 表現 本文会話の中から日常会話でよく使われるリアルな表現を取り上げ、使い方がわかるように解説と例文がついています。

5. 談話練習 1、2 本文会話の表現を使ってロールプレイに挑戦しましょう。別冊の解答例には辞書にないようなくだけた表現も多く使われているので、確認すれば運用力と語彙力がさらに高まります。

6. 語彙リスト 各シーンで難易度が高いと思われる語彙のリストです。英語・中国語の訳がついています。

このテキストで学んだことが身につけば、何気ない日常の会話がきっと自然にできるようになるでしょう。皆で笑いながら楽しく勉強して下さい！



「JLPT ポイント & プラクティス」シリーズとは…

短時間で効率よく重要ポイントを学ぶことを目指した日本語能力試験対策問題集のシリーズです。

1回45分の学習時間を目安とし、合格に必要な最低限の力を身につけます。

『JLPT 文字・語彙N3 ポイント & プラクティス』

本田ゆかり・前坊香菜子・菅原裕子・関裕子 著

B5判 115頁 別冊46頁(予定) 1,320円(税込) 6月発行予定



東京外国語大学大学院国際学研究院

特別研究員 本田ゆかり

特長

①試験形式問題を解く→リストをチェック(全30回)

本書では、はじめから試験形式の問題を解き、後で語彙や漢字をリストで確認します。このように進めると、試験のような緊張感のなかで習ったことばを思い出そうとし、知らないことばには特に注意を向けますので、既有知識の

整理、知らない語彙や漢字への気づき、理解、記憶がスムーズに進みます。

②重要語彙を厳選

試験前対策として重要語彙を中心に学習できるように、日本語能力試験等を分析して語彙と漢字を厳選しています。また、コーパス頻度や統計情報も参照して、日本語を使った言語生活にも有用で汎用性の高い項目を掲載しています。

③語彙と漢字を一緒に学ぶ

文字・語彙では、語彙と漢字が別々

に分かれている試験対策本もありますが、本書では一冊にまとめています。漢字は語彙のリストで扱うものの中から取り上げているので、語彙と漢字を同時に効率よく学習することができます。

本書は、語彙や漢字を一度にたくさん覚えるのが苦手な学習者の方にも使いやすいように、学術研究の成果を踏まえたさまざまな工夫が凝らされています。試験対策にぜひ利用してみてください。

『JLPT 読解N3 ポイント & プラクティス』

熊田道子・福岡理恵子・清水知子 著

B5判 62頁 別冊62頁(予定) 1,430円(税込) 7月発行予定



熊田道子 福岡理恵子 清水知子

特長

①すべての設問がJLPT形式のため、自然に試験スタイルに慣れていきます。

②読解において注意を払うべきポイントが、各回でまとまっています。

③別冊「解答・解説」は翻訳つき(英語・中国語・ベトナム語)で、解答までの道筋がわかりやすく図解されています。そのため、独習にも便利です。

構成

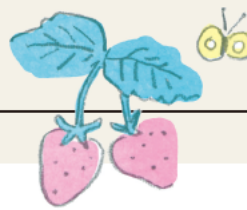
①本冊(全3章・12回分の問題と模擬試験1回分)

第1章は、接続の表現、指示詞など、文章を読む際に注意すべきポイントで各回をまとめ、第2章は、メール、意見文など、文章のタイプ別に括りました。第3章は、長文と情報検索を1題ずつセットにしています。

②別冊(解答、図解、ポイント解説翻訳つき)

まず正答を示し、誤答選択肢の多くに説明をつけました。次に、正答の根拠となる読み取りポイントを図解し、重要表現をピックアップしました。中文、長文については、文章全体の要約も載せてあります。

効率的な読解力育成のため、ぜひ本書をご活用ください。



近刊

上下ルビで学ぶ 介護の漢字ことば	1,650 円	5 月発行予定
JLPT文字・語彙N3 ポイント&プラクティス	1,320 円	6 月発行予定
JLPT読解N3 ポイント&プラクティス	1,430 円	7 月発行予定
日常会話で親しくなれる! 日本語会話 中上級	1,980 円	7 月発行予定

お知らせ

『みんなの日本語 初級I 第2版 翻訳・文法解説 シンハラ語版』好評発売中

『みんなの日本語 初級I 第2版 本冊』に準拠した翻訳・文法解説書に、新たにシンハラ語が加わりました。

各課の「ことば」とその訳、文型・例文・会話の翻訳、その課の学習に役立つ参考語彙と日本事情に関する情報、文型及び表現に関する文法解説をシンハラ語で掲載しています。

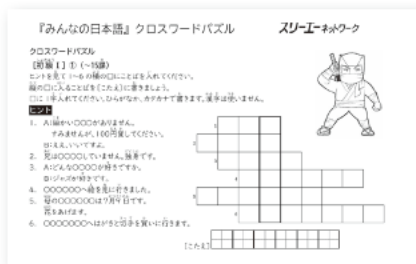
また、各課の学習に入る前に、日本語の特徴、文字、発音についてのシンハラ語による説明、教室のことば、あいさつ表現の翻訳があります。



『みんなの日本語』クロスワードパズル 公開

本誌別冊の『アイデアの宝船』でもご紹介していますが、『みんなの日本語』の語彙を使ったクロスワードパズルをスリーエーネットワークのウェブマガジン3A Plusで公開していきます。ぜひ、ダウンロードして学習者の皆さんと一緒に取り組んでみてください。『みんなの日本語』クロスワードパズルは、8月末まで隔週で2回ずつ公開していく予定です。

<https://plus.3anet.co.jp/>



『教材紹介動画』公開

ウェブサイトから、好きな時に自由にご覧いただける「教材紹介動画」を公開しました。著者に教材の概要や、授業での使い方などをお話しいただいています。ひとつの動画は15分程度です。

教材について知りたい方はもちろん、すでに教材を使ってくださっている方も、ぜひご覧ください。

・『JLPT聴解N3 ポイント&プラクティス』
①教材の特色と構成 ②教材の使い方と聴解指導のポイント

・『新完全マスター読解 日本語能力試験 N4』『同 N3』①指導のポイント ②授業の進め方

・『新完全マスター読解 日本語能力試験 N2』『同 N1』①指導のポイント ②授業の進め方

・『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 動画で学ぶ大学の講義』教材の特徴と内容、授業での使い方

<http://bit.ly/KyozaiShokaiDoga>



聞き方のポイント 忍者が説明

1回目 ①課題理解

2. 聞き方のポイント

① 「何をしなければいけないか」という問いに答えてもらう。「何をすればいいか?」「何をすればいい?」「何をすればいい?」などに注意。

② 「何をしなければいけないか」という問いは、「最初に」しなければいけないことに注意。
★ 聞き、確認

読んだ後で

- ・ 読んだ文章について意見を述べあう
- ・ 再読
(本文を見ずに何が書かれていたか簡潔に言う)
- ・ 覚えてほしい語彙・漢字を示して復習
次の回に語彙クイズをしてもよい
(理解できる語彙が少ないと、結局は読解ができない)

季刊ジャネット

Ja-Net No.97

スリーエーネットワークという社名は、アジア (Asia)、アフリカ (Africa)、ラテン・アメリカ (Latin America) の三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2021年4月25日発行

- 発行人 藤崎政子
- 発行所 (株)スリーエーネットワーク
Ja-Net 編集室
〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4
トラステイ麹町ビル2F
TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729
E-mail: sales@3anet.co.jp
<https://www.3anet.co.jp/>

- デザイン ペーシック 畑中 猛
 - イラスト 須山奈津希 (P.1, 8)
 - 印刷 (株)ワコー
- © 2021 by 3A Corporation
Printed in Japan (禁断断転載)

『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。次号は2021年7月25日発行予定です。